

茨城県立中央病院にて臨地実習
に関わる教員、学生各位

事務連絡
令和8年4月

茨城県立中央病院
看護局長 秋山 順子

看護学生の臨地実習における感染症予防対策について

日頃より当院の臨地実習における感染症予防対策にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
今年度も貴校学生の受け入れにあたり、感染症予防および院内感染防止の観点から、実習期間前後の感染症対策について、下記の事項につきましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

つきましては、教員および学生の皆様方に、実習等に際しての遵守事項並びに臨地実習における院内の感染予防対策を遵守することについて、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 実習前の対策

実習 2 日前から以下の項目について実施と観察をお願いいたします

- ① 1 日 1 回の体温と、諸症状の有無を観察する。
症状：倦怠感、頭痛、咽頭痛、鼻汁、嘔気、下痢、味覚障害、その他
※実習初日に口頭で確認させていただきます。

2 実習中の対策

- ① 朝（自宅を出る前）の体温と、諸症状の有無を記録する。（別紙 1）
- ② 健康状態に問題（37.5℃以上の発熱、諸症状等）がある場合は、担当教員、実習部署に報告する。
- ③ 病院内では清潔な不織布マスクを着用する。
- ④ 手指衛生を徹底する。
- ⑤ 不用意な接触を避けるために、受け持ち患者以外の部屋に立ち入らない。
- ⑥ 同居内で感染症陽性者が発生した場合は速やかに報告する。

3 実習中止の要件

- ① 感染症が疑われる症状がある場合
（発熱、倦怠感、頭痛、咽頭痛、鼻汁、嘔気、下痢、味覚障害、等）

4 その他

- ① 上記の対策が不十分であった場合、実習中止の要件を確認した場合は、速やかに看護教育支援室または実習部署へご連絡ください。
- ② 実習後2日以内に37.5℃以上の発熱、または諸症状が出現した場合は、看護教育支援室へご連絡ください。

【ご連絡先】

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
看護教育支援室
電話（0296）77-1121（代表）

